



# 抗

おん

コウ

7画  
士 卍 壴 吉 壱

はねる

なりたち  
人が両手を広げ足  
を踏んぱり、威張つた形  
した元と手との会意形声字。  
相手に負けまいと「張り合  
はむかう・さからう」こと。

▼はりあう。はむかう。さか  
らう。  
抗議：異議や苦情を強く言い  
立てる、反対すること。  
用例 抗争をくりかえす。  
抗弁：①相手に張り合つて、  
自分の意見をのべ立てるこ  
と。②法律用語。  
で、相手の申し立てを無効  
にするために別のことを主  
張すること。

抗告：法律用語。  
決に不服で、さらに上級裁  
判所に申し立てるうこと。

反抗：はむかうこと。さから  
うこと。  
例 反抗期

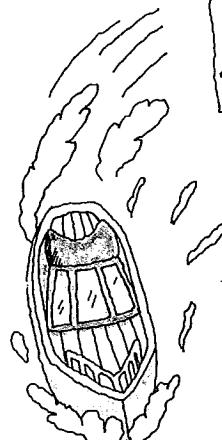
ミ三知識  
細菌から作り、他の生物の発  
育を妨げる物質。ペニシリソ。

ストレプトマイシンなど。

抗

航

人



# 航

おん

コウ

10画  
ノ 冂 舟 航 航

はねる

なりたち  
さからう意味の元  
と舟との会意形声字。昔の舟  
は川の流れに従つて運行する  
ものが多かつたが、航は川の  
流れに逆らつて進むことを表  
した字。目的地に向かって「舟  
を進める」こと。

用例 地中海周航の旅。  
周航：方々をめぐる航海。  
密航：船や飛行機にこつそり  
乗り込んで外国に行くこと。  
▼飛行機などで空を飛ぶ。  
航空：飛行機で空を飛ぶこと。  
例 航空運賃  
よみかた  
航程・帰航・欠航・巡航・渡  
航行・航跡・航統



なりたち  
旧字は壱。壱(一)と  
吉との形声字。酒を醸造する  
壺という意味をもつ字。發音  
が一と同じだったため、金額  
の書きかえを防ぐため一に代  
用した。

7画  
士 卍 壴 吉 壱

▼「一」の代用。  
例 金壱万円也  
さんこう  
領収書・証券など  
に金額を記入すると、「一」  
だと「二・三・四・五・六・  
七・十」など違う数字に書き  
変えられるおそれがあるので、  
それを防ぐために「壱」が用い  
られる。同じように、「二・三・  
十」もそれぞれ「式・参・拾」  
が用いられる。

壱

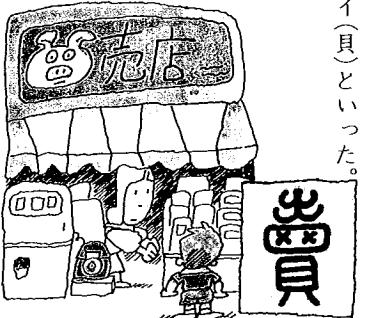
おん

イチ

壱

おん

イミトイジユク



なりたち  
旧字は賣。士は出  
で、出と買との会意形声字。  
買う品物を出すという意味で  
「うる」ことを表した字。大昔  
は売ることも買うことも同じ  
行為であるから区別せずにバ  
イ(貝)といった。

7画  
士 卍 壴 吉 壱

▼うる・うれる  
うる：売つたり買つたりする  
こと。  
例 商品の売買。  
売却：売りはらうこと。  
例 売却  
競売：多數の買い手が競争で  
値段をつけ、一番高い値段  
をつけた者が買い取る方法。  
セリ。  
例 遺品が競売にかけられた。  
却済み  
競売：品物を売るときの値段。  
値段をつけた者が買い取る方法。  
競売名：自分の名前を世間にひき  
めようと必死になること。  
例 売国奴  
よみかた  
売り子・売価・売ば  
店・売品・売薬・商売・即売  
転売・特売・発売・販賣

壱

おん

イミトイジユク

壱

おん

イミトイジユク